

令和7年度 門真市公民連携デスク地域課題解決支援実施事業

課題概要説明シート

タイトル	保育士等の確保と定着
概要	本市では、全国的に不足する保育士等の安定的な確保・定着を促すために、本市独自の保育士等確保施策である「保育士等定着支援給付金事業補助金」及び「保育士等保育料無償化事業給付金」を民間の就学前教育・保育施設に実施しております。 しかしながら近隣各市においても保育士確保施策を拡充しており、市内保育施設においては、保育士不足を要因とした受入児童数の抑制が行われています。 保育士等が働きやすい環境を整備し、新規採用者の確保及び既存の保育士等の就業継続や離職防止を図るためには、民間事業者のアイデアが必要不可欠と考えており、本市と連携した実証実験に取り組んでいただける提案を募集します。 ※いただいた提案について、民間就学前教育・保育施設の協力が必要なものについては、事業者との協議・合意のうえでの実施となります。
解決したい課題	【現状（背景・課題等）】 ■現在、上記記載の事業を実施しているものの、市内保育施設において十分な保育士等を確保できていない状況にあります。 ■保育士等が不足する要因として、 ①少子化不足による担い手（保育士志望者）が減少していることに加え、各市において様々な保育士確保施策が実施され、新規採用者の確保が困難な状況にある。 ②市内の民間保育施設の状況では採用後5年目までの職員が約半数を占め、採用後10年目までの職員で約75%を占めており、保育士等の離職率が高い状況にある。 ■解決したい課題としては、 ①求職者がどのような就職先に魅力を感じ、どのような条件を求めているのかが把握できていないこと。 ②求職者に対して市内保育施設の求人情報がどこまで認識されているか、より効果的な求人方法等がないか。 ③現場で働いている保育士等がどのようなことに課題等を感じ離職していくのかが把握できておらず、離職率防止に向けた取組の方向性が定まりにくいこと。 ④求職者・現保育士ともに意見を聴く機会がないこと。

	【実現したい未来】 ①保育施設・行政ともに過度に投資することなく新規採用者が確保できる状況。 ②市内保育施設で働く保育士がやりがいと誇りを持ち継続して勤めていける状況。
希望する提案	①求職者及び現役保育士等が就職先へ求める条件及び保育士等の退職理由の効果的な収集・分析並びにその対策及び対策の効果検証 ②求職者に対する市内保育施設の効果的なPR
市が提供できる リソース	・本市が実施している保育士等確保事業の概要 ・保育士を対象としたアンケート結果（R4・R6実施分） ・在籍年数別職員数（R3～R6調査分） ・募集人数、応募人数、採用人数、離職者数(R4～R6調査分)
市が提供できる メリット	■市との連携事業として、市HPや市公式SNS（Twitter・Instagram・LINE）で広くPRします。